

延焼拡大防止性能検証法の解説及び計算例とその解説

目 次

第 1 章 延焼拡大防止性能検証法の概要

1.1	面積区画の目的と法改正の背景	1
1.2	特定空間部分に求められる条件	4
1.3	検証の方針	11

第 2 章 設計火源

2.1	特定空間部分で想定する火災	13
2.2	特定部分で想定する火災	19

第 3 章 煙層の温度上昇防止のための排煙設備計画

3.1	特定空間部分における熱気流の質量流量	21
3.2	機械排煙風量	25
3.3	自然排煙口の開口面積	26

第 4 章 延焼防止の評価

4.1	火炎からの放射受熱量の上限	27
4.2	想定する延焼パターン	28
4.3	放射面の想定と形態係数	29
4.4	特定空間部分の火災	30
4.5	特定部分の火災	31

第 5 章 延焼拡大防止性能検証法の適用例

5.1	事例 1 (規模の小さいアトリウム)	33
5.2	事例 2 (規模の大きいアトリウム)	42

第 6 章 技術解説

6.1	特定空間部分における熱気流の質量流量	53
6.2	自然排煙口の開口面積	56
6.3	火炎からの入射熱量の算出における形態係数	58

質疑応答集	63
-------------	----

関連法令

・ 建築基準法施行令第112条（防火区画）.....	73
・ 通常の火災時において相互に火熱による防火上有害な影響を及ぼさない建築物の二以上の部分の構造方法を定める件（令和2年4月1日国土交通省告示第522号）.....	78
・ 耐火性能検証法に関する算出方法等を定める件（平成12年5月31日建設省告示第1433号）	84